

西日本豪雨災害の被災地報告（広島・岡山）

この度の豪雨災害で被災された方におかれましては、心よりお見舞い申し上げます。

西日本に大きな被害をもたらした集中豪雨から、1カ月となります。各地の状況をお伝えします。

<広島> 吉川継史

4年前の土砂災害は広島市安佐南区、安佐北区の一部でしたが、

今回は広島市安佐北区、東区、南区、安芸区、府中町、坂町、呉、三原、尾道、福山など広範囲で被害があり、被災地を目の当たりにすると言葉になりません。

安佐北区口田南は口田なかよし保育園がある地域です。幸い保育園は何も被害はありませんでした。保護者の家や実家が被害（写真）にあい、連日復旧作業の手伝いに入りました。

他にも会員がいる安芸区の認可外保育園では園の近くの川が氾濫し、目の前が流木の山で道路が塞がったとのこと。保育と泥掻き連日やっている状況。物資はけっこう集まってきているので、今はとにかく人手がいるようです。重機が入らないところの泥掻きは大変な作業です。一日でも早く穏やかな日常に戻ることを願いながら頑張っていこうと思います。



<岡山> 入江慶太

岡山は、災害が比較的少ない晴れの国ですが、ニュースでよく取り上げられる倉敷市真備町を中心に、浸水被害を受けました。その倉敷市真備町では高梁川水系の小田川の堤防が決壊し、高いところで最大4.8mまで浸水したようです。

真備地域の保育園を2園見させていただきましたが、両園とも1階部分が天井まで浸水したようで、水が引いたあとは全ての保育機材や教材がドロドロの状態に残されていました。写真にもある通り、泥をかぶった七夕飾りがあり、7月7日前後から時が止まっています。

保育の養成校に勤務している関係で、倉敷市が始めた預かり保育（3歳から小学3年生までが対象）のお手伝いを学生とともにしています。3歳未満児は環境の整った真備町外の保育施設での一時預かりも始まっていますが、ちいきてきにはまだまだ物資よりも人手がいる状況です。災害前の日常に戻るにはまだまだ時間が必要ですが、少しずつ前に進み始めています。

